

2024年新春



2023年6月1日から2024.5.31までの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2023.12.25現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	872	200	236
備 南	2,500	248	80	54
美 作	800	100	50	33
玉 野	700	170	20	17
県 計	10,000	1,379	350	340

岡山県版

No. 333

2024年1月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

岡山県本部

〒710-0131

倉敷市天城台

4-7-12 福井方

振替 01300-4-99361

mail : family-fukui@khf.biglobe.ne.jp

二〇二四年新年にあたつてのご挨拶

県本部会長

河井伸士

昨年末は「自民党の裏金・腐敗」が一気に表に出ました。「赤旗」日曜版のスクープです。「小と言えども正論の力」を実感します。

「治安維持法体制」の清算とともに「米国・財界言いなり、金権・腐敗の自民党政治はもうごめん!」今、強く思います。

イスラエルのガザでの蛮行は心が痛みます。米国はこの「大虐殺」を認めています。その米国に追随する岸田政権。唖然とします。

一昨年からの映画「わが青春」につくるともー伊藤千代子の生涯ー上映運動は県下二〇回の上映会、一一〇人を超える鑑賞者で昨年末から第3次上映運動です。昨年は岡山市高松、高梁市で行い、今年は倉敷市船穂、笠岡市で計画されています。

「新しい戦前」は急ぎ足で暴走

「新たな戦時体制をやるすな!」「金権・腐敗の自民党政治打倒!」「治安維持法体制を清算し、平和と暮らし、命を守る新しい政治を!」

します。それに真向から対決する治安維持法国賠同盟は憲法を生かす新しい政治実現の闘いの一翼を担います。

昨年の県本大会で決定した四〇〇名の県同盟建設に新年からダッシュを!

▽ 治安維持法国賠同盟備南支部大会と映画「わが青春つきるとも」上映会

時 … 一月一四日(日)

午後1時~

会場 … 船穂公民館

▽ 県女性部総会

時 … 一月二一日(日)

午後1時半~

会場 … 岡山市網浜

福祉交流プラザ旭東

二〇一四年新年にあたっての決意

備南支部事務局長 池上尚美

イスラエルのガザでのパレスチナの人々への蛮行は絶対に許されません。

自民党政治の金権・腐敗は「闇金づくり」の発覚でその「泥まみれ」が明るみにしました。この世界と日本を覆う「戦争と虐殺」「金権腐敗の汚れた政治」を目前にして私たちは何をしなければならないのか。

時勢に流されず、信念をもって、優しさをもって一步、一步やり抜くことを新年にあたって心に決めました。ともに頑張りましょう。

国会請願国賛署名の支部目標 今年も達成を！ 美作支部長 中西孝

美作支部は支部役員会の定期開催、「不屈」美作版の発行、そして民主団体との共同行動への参加など支部活動の確立に努力しています。

昨年は久しぶりに八〇〇筆の署名支部目標を達成しましたが今年を確認し年明けから頑張ります。

二〇一四年新年にあたっての抱負

丘野支部長 前川守

自民党の「ペーティ券」が政治資金報告書虚偽記載の疑い、ウフ金疑惑で検察の家宅捜索が入りました。自民党の金権腐敗政治を終わらせることヤンスです。

物価高騰、年金削減、健康保険証

実現させるためとも、自民党政治を

これまで以上に一人でも多くの人に、正しいことを伝えねばならないでしよう。

人として、人間として一度、自分たちを見直さねばならないのでしよう。

倉敷民商弾圧事件・禰屋裁判の差戻し審の第4回公判が、12月20日開かれ、地裁前に集まつた一三〇人。そのうち九二人が傍聴席に。今回の公判も検察側証人への尋問で、広島国税局から二名の職員が出廷。検察側は、国税当局の強制捜索が適法に行われたことを立証しようとするのですが倉敷民商のPC8台、事件とはなんの関係もない書類を根こそぎ押収して、I建設のPCは一台も押収されないなど、これは民商弾圧が狙いであったことが浮き彫りになりました。

次回一月の公判は、一審で禰屋さん有罪の根拠とされた木嶋検察官への一五分の尋問を、三時間に変更するなど検察は迷走しており、その取り扱いを巡って1月の公判は中止となりました。

会

5日 県人権研究集会実行委員会

6日 県本部常任理事会

8日 「不屈」発送作業

12月 事務局日誌

15日 「不屈」美作版発行

18日 美作支部役員会

20日 岡山支部役員会

22日 「不屈」美作版発行

26日 「不屈」美作版発行

26日 備南支部役員会

27日 岡山支部役員会

倉敷民商・禰屋裁判を支援して

岡山支部 小林治彰

倉敷民商弾圧事件・禰屋裁判の報告集会で、弁護団の詳しい報

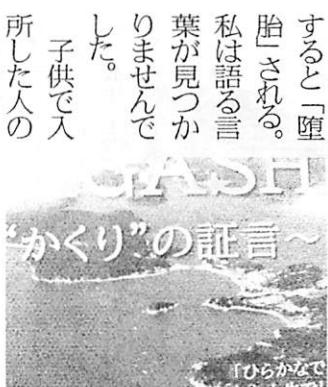
告と禰屋さんから裁判支援へのお礼と、三〇万筆を超えた署名をさ

らに積み上げ、必ず勝利を勝ち取っていく決意が述べられました。

女性部
だより

「NAGASIMA」—かくりの証言—を観て

女性部 谷口洋子



ドキュメンタリ映画「隔離の島—NAGASIMA」を観て

倉敷市児島 小山和正

ハンセン病療養所愛生園、光明園は瀬戸内市にある。私は合併前の邑

校舎の生徒たちが桟橋から船が見えなくなるまで、手を振っていた情景

久町に生まれ一八歳まで暮らしました。

「交流試合」が終ってから新良田と昭和三年に設立された岡山県立邑久高校新良田(にいらだ)校舎。

ハンセン病の子供たちの高校です。

「隔離の島—NAGASIMA」私は邑久高校の生徒。

高校生の頃にF先生から「新良田防法撤廃」、差別告発裁判に勝利し、「人間回復の橋」長島大橋がつけられた。

ハンセン病をテーマにした富崎賢さんの映画を観て感動しました。映像を通じて懐かしい先輩諸氏にお会い

るぞ」と叱責されました。後年、その生徒の眼は君らとは違つ。輝いとがあり、年上の人もいましたが「学ぶ意欲」「しっかりした人生観、社会観」を持っていることに驚きました。

「隔離の島—NAGASIMA」のない明るさは「隔離の島」でそれ

人してから愛生園の方からそのこと

一月二十五日、ドキュメンタリ映画上映会があった。三十年にわたるハンセン病療養所「愛生園」の元患者の方々の心の叫び、証言に搖さぶられ、生きてきた富崎賢監督自身の熱い思いがあいさつの中にも映像にも観客席に伝わってきた。わたしには知らないことがいっぱい。数十年

前に「まがね」文学会で「愛生園」を訪問したことがあったがそれはほんの一部。その時は握手もしました。しかし、日本社会全体にあるハンセン病への無知と偏見、差別を、そして元患者のみなさんの苦しみを深く考えなかつたことを今回の映画でまたまこと考えさせられました。

「人権」ってなんだろう? いつも頭にあることですが抽象的です。

自分の言葉で説明できませんでした。

この映画で語られたことに驚愕しました。家族と引き離され、生涯を

「隔離の島」に生き、外出の自由もなく、「懲罰獄」があり、断種しないと園内結婚もできない。もし妊娠

した。

私は傍観者だったことを反省しました。

失った人の苦しみを知つて初めて「人権」の具体的実像が解つたのは

人間としてあまりにも罪深いと知りました。自分自身も人間らしく、誰

もが対等な人間として世の中でもつ

すぐにつきされることをめざして闘つ

ていく勇気の大切さを学びました。

当時、私たちと新良田校舎の生徒でバレー・ボールの「交流試合」をすることがあり、光明の港から長島の愛生園棧橋に渡りました。私は内心、「差別はしない」「そんな気持ちはない」と自分に言い聞かせながら、試合が終わつて手を消毒しました。成

強さ、生きることへの確信という確信といふものに大きな希望となります。



治安維持法下の闘い 白菊の君—苅田アサノ

日本女子大國文科に入学。

様々な人と出会い、日本共産党に入党



（大正一一）、
津山高女を卒業したアサノ

は日本女子大國文科に入学。理由は「文学志望と祖父を中心とした父長的空氣、犠牲の多い母たち女性にももっと別の生き方があるはず」という思いがあつたからである。

大学に入学したアサノは日本の古典文学とともに翻訳された海外文学、特にロシア文学に魅了された。卒業の時にはロシアの文豪、ドストエフスキイに取り組んだ。そしてロシア文学からロシア語の勉強、ロシア革命のことや社会主義、社会運動への眼が向き、社会科学の学習、日本共産党に接近した。

一九二六年、日本女子大を卒業した苅田アサノは女子大同窓会が経営する桜楓会アパートに住み、湯浅芳子のもとでロシア語の勉強



一九二八年には『赤旗』が発刊され、日本共産党は中国への侵略戦争の動きを暴露し国民に『帝国主義戦争反対、中国から手をひけ!』と呼びかけた。一九二八年には第一回普選法があり非合法の日本共産党が公然と活動して全国で労働争議、農民運動が高揚した。日本共産党の前進を恐れた天皇制政府は治安維持法を発動して三月十五日に大弾圧を行った。

川田龍平氏は血友病で非加熱製人を検査、翌二九年四月一六日にも一〇〇〇人を超える人々を検査した。一九三一年（昭和六）満州での侵略戦争が拡大される中、苅田アサノは日本共産党に入党した。それは彼女の納得した生き方だった。

許せないのはその研究成果を米国に渡して自らは「戦犯」を免れた。七三一部隊の詳細は森村誠一著「悪魔の飽食」が良く判る。

を始めた。そこでアサノは中条百合子に出会う。ともにロシア語を学びながら交流を深め、一九二七年には早稲田大学の露文科の聴講生となる。アサノはここでも成績優秀で早稲田でも様々な人に出会い、資本論学習会を開いたり、非法の共産党に資金カンパをしている。

「治安維持法と現代」を読んで 倉敷市 宇垣信子

一二月三日、「あかいわ赤旗まつり」が開かれ一二〇名を超える人が参加。盛況でした。小松康信岡大名誉教授が「農は平和の基礎」と講演。衆院比例予定候補の垣内京美さん。一区予定候補の住垣内京美さんも駆けつけ、ご挨拶。

こんな時こそ「国賠署名を」と入口付近で参加者に声をかけると次々と署名してくれ、六〇筆が集まりました。

岡山支部長 河井伸士

「あかいわ赤旗まつり」で署名集め

-3-

「治安維持法と現代」春季号に「治安維持法犠牲者に賠償と謝罪を」制定を求める紹介議員を受託した国会議員名が載っていた。写真と所属会派、地元事務所が記載されている。衆院議員六七名、参院議員四二名。

川田龍平氏は血友病で非加熱製剤を注射されて具合が悪くなつた。裁判に訴え、そして参院議員になつた。

元は戦時に日本軍の七三一部隊にいた医師が「緑十字」に入社してそこで製剤の在庫が多くあつたのでそれを使つた。七三一部隊の「命よりも研究を重んじる精神」からでた行為だつた。七三一部隊の責任者、石井四郎中将は捕虜を「マルタ」と言い、「人体実験」をやって殺害した。

許せないのはその研究成果を米国に渡して自らは「戦犯」を免れた。七三一部隊の詳細は森村誠一著「悪魔の飽食」が良く判る。